

目次

30	和歌集	小倉百人一首	和歌に詠まれた人々のおもい	和歌の修辞	62
29	歌論	無名抄	逢坂の関の清水の場所	終止形・連体形など接続の助動詞	60
28	説話	宇治拾遺物語	好き者通清のはやとちり	連用形接続の助動詞まとめ	58
27	説話	十訓抄	終わらない悲しみ	未然形接続の助動詞まとめ	56
26	説話	宇治拾遺物語	吉野山の鬼	助動詞⑪「まし・まほしたし・ごとし」	54
25	物語	竹取物語	五人の求婚者	助動詞⑩「めり」・音便	52
24	説話	宇治拾遺物語	百鬼夜行	助動詞⑨ 断定「なり・たり」 伝聞推定「なり」	50
23	物語	竹取物語	かぐや姫の諫め	助動詞⑧「じ・まじ」	48
22	日記	十六夜日記	富士山の不思議	助動詞⑦「らむ・けむ」	46
21	説話	古事談	盗んだものは誰のものか	助動詞⑥「む・むず・べし」	44
20	随筆	落栗物語	松花堂昭乗の水心	助動詞⑤「す・さす・しむ」	42
19	御伽草子	十二類合戦絵巻	狸の復讐	助動詞④「る・らる」	40
18	随筆	方丈記	分相應の暮らし	助動詞③「たり・り」	38
17	説話	今物語	西行の災難	助動詞②「つ・ぬ」	36
16	随筆	方丈記	急な遷都の嘆き	助動詞①「き・けり」	34
15	随筆	花月草紙	医師の言うこと	頻出助動詞「ず・ぬ・けり・む・なり」	32
14	仮名草子	伊曾保物語	田舎の鼠	読解のつぼ③ 敬語の種類	30
13	軍記物語	平家物語	能登殿の最期	音便	28
12	説話	今昔物語集	羅城門	用言 活用形まとめ	26
11	説話	古今著聞集	刑部卿の北の方	形容動詞	24
10	説話	宇治拾遺物語	獵師、仏を射る	形容詞	22
9	日記	土佐日記	羽根という所	読解のつぼ② 係り結びの法則	20
8	歌物語	大和物語	内舎人の約束	動詞⑤ 力変・サ変	18
7	歌物語	伊勢物語	飛びゆく蛭に託したこと	動詞④ ラ変・ナ変	16
6	説話	古今著聞集	蹴鞠の離れわざ	動詞③ 上一段・下一段	14
5	随筆	玉勝間	物忘れの嘆き	動詞② 上二段・下二段	12
4	説話	古今著聞集	母子猿の相愛	動詞① 四段活用	10
3	説話	古本説話集	鳴く鹿への哀れみ	読解のつぼ① 語の省略・「の」「ば」	8
2	御伽草子	浦島太郎	亀を助けた理由	文節・単語・品詞	6
1	仮名草子	伊曾保物語	相應のふるまい	歴史的仮名遣い・文節・単語	4

ポイント書く解く

マスター古文 1

